

# プラスチック問題の現状

2016年度の清涼飲料用ペットボトル出荷本数は約227億本でした。(PETボトルリサイクル推進委員会調べ) 調味料や料理酒等のボトルも全部含めると約232億本と推定されます。出荷本数は年々増加しており、それに伴い「プラスチックによるごみ問題」が深刻化しているのが現状です。日本の人口が約1億2700万人(2016年)、単純に1人あたり年間約183本消費している計算になります。

## ○ ペットボトルの生産量と回収率



グラフを見ていただくと、2012年以降およそ9割の回収率があるので問題ないように思うかもしれませんが、残りの1割でも大変な量となります。

2016年で計算すると、出荷本数が約232億本でした。回収率が88.9%でしたので、回収されたのは約206億本で、残り**26億本**は未回収という事になります。回収率を上げる事も重要ですが、プラスチックごみを減らす為、ペットボトルの消費を抑える取り組みも考えていく必要があると思います。

## ● 浄水器で実現できるペットボトル消費量の削減

例えば、毎日ミネラルウォーターを購入している人が、浄水器を導入した場合。

1日の水分摂取量は、体重60キロの場合、2.1ℓです。

つまり、2ℓのミネラルウォーターを毎日1本(500mlなら4本)消費している事になります。

浄水器を使用すると、年間365本(500mlなら1460本)削減することが出来ます。

飲料水1日2ℓを購入した場合  
年間で500mlのペットボトルを



**1460本消費**



ペットボトルの消費は



**「0」**